



大野原町田野々 法泉寺

## 9月議会の概要

平成26年5回定例会は、9月2日に召集され、26日までの25日間の会期で開かれました。

平成25年度決算認定は、認定第1号から13号までの13件を10日～12日の日程で決算審査特別委員会において審議を行いました。また、26年度一般会計および特別会計補正予算3件、条例制定・改正4件、契約同意など4件、請願1件、陳情1件について、審議を行いました。

また、8日、9日の一般質問では、個人質問に議員16人が50項目について、当局の考えを質しました。

## 目次

第5回(9月)定例会

決算認定(13件)

**25年度一般会計歳入歳出決算** (認定第1号)  
 歳入総額265億8、430万円、歳出総額260億1、103万8千円  
 差引額5億7、326万2千円(基金繰入額2億5千万円、繰越額1億5、228万1千円)

**25年度特別会計歳入歳出決算** (認定第2、12号)  
 歳入総額161億3、010万1千円、歳出総額156億8、749万2千円  
 差引額4億4、260万9千円(基金繰入額1億3、300万円)

**25年度水道事業会計歳入歳出決算** (認定第13号)  
 収益的収支の総収益14億5、936万2千円、総費用12億7、891万1千円  
 差引額1億8、045万1千円

条例制定・改正(4件)

**市健やか子ども基金条例の制定** (議案第54号)  
 子育て力の向上、子育て支援のため基金を設置

**市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部改正** (議案第55号)  
 法律の改正に伴い、父子家庭を含む「ひとり親家庭」を助成対象とする。

**市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定** (議案第56号)  
 子ども・子育て支援法の制定に伴い、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める。

**市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定** (議案第57号)  
 子ども・子育て支援法等の制定に伴い、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める。



予算関係(3件)

**26年度一般会計補正予算(第3号)** (議案第60号)  
 予算総額に、5億9、159万2千円を追加し、総額296億7、310万3千円とする。

**主な歳入補正**  
 固定資産税8、200万円  
 地方交付税6、599万8千円  
 繰越金(25年度)1億7、098万円

**主な歳出補正**  
 三観広域行政組合返還金3億9、212万円

**予防接種委託料**3、383万5千円(法律の改正に伴う)

高品質園芸作物生産拡大事業補助金1、151万2千円  
 園芸作物用機械の導入助成  
 大野原池田線防災対策工事5、465万3千円(26年3月の法面崩壊箇所を整備)

**26年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)** (議案第61号)  
 予算総額に、5、052万3千円を追加し、総額53億852万3千円とする。

**26年度公共下水道特別会計補正予算(第1号)** (議案第62号)  
 予算総額に、1億6、294万6千円を追加し、総額14億1、294万6千円とする。

**その他(4件)**

**公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する協定の締結** (議案第58号)  
 第1ポンプ場建設工事を日本下水道事業団へ委託する。契約額3億1、573万円(26年度事業費9、968万円)

**三観広域行政組合ふるさと振興基金の廃止に伴う財産処分** (議案第59号)  
 ふるさと振興基金出資金などの総額10億円を関係市、県へ返還。当市へ、3億9、211万2千円返還

**財産の取得** (議案第63号)  
 新庁舎建設に伴い、書庫など722セット購入(金額4、104万円)

**財産の取得** (議案第64号)  
 新庁舎建設に伴い、ハングドル式移動棚69基購入(金額2、052万円)

陳情(1件・継続分)

**請願(1件・継続分)** (請願第3号)  
 伊方原発の再稼働に反対する意見書の提出を求める

**陳情(1件・継続分)** (陳情第2号)  
 住宅リフォーム助成制度創設を求める



## 第4回臨時会 (8月20日)

新市建設計画の期間延長および、新市民会館建設事業費の増額補正を内容とする2議案が提案されました。審議において、反対の意見も出されましたが、採決の結果、いずれも原案通り可決されました。

### 新市建設計画の変更

(議案第52号)

新市建設計画の期間を10年から15年に変更し、合併特例債の発行可能期間を5年間延長する。



見やすく聴きやすく使いやすい「大ホール」



豊かな響きと親密さを持つ「小ホール」

### 26年度一般会計補正予算 (第2号)

(議案第53号)

歳入歳出それぞれ2億2,860万円減額し、予算総額290億8,151万1千円とする。  
新市民会館建設事業の債務負担行為期間を平成27年度から28年度まで延長し、限度額を13億791万3千円増額し60億7,169万円とする。

## 一般質問項目表 (個人質問)

### 9月8日(月)

順番	氏名	質問件名
1	諒間 茂 (友志会)	●6次産業化について ・給食費無料化について ・地域別医療費について ・まちの活性化について
2	立石 隆男 (民政クラブ)	●防災・減災について
3	大久保隆敏 (立志会)	●萩原小学校の跡地利用について
4	大平 直昭 (友志会)	●「空き家等の適正管理に関する条例」について ・高齢者の健康づくりについて
5	安藤 忠明 (公明党)	・危機管理について ●運動公園の野球場について
6	井上 浩司 (友志会)	●高齢者詐欺被害防止について ・リーガルサービス(法律相談)について ・三豊工業高校の跡地利用について
7	井下 尊義 (民政クラブ)	●市長、副市長の役職について ●入札について ●のりあいバスについて
8	石山 秀和 (公明党)	・定住・移住対策について ・身近に取り組める防災・湧水対策について ・銭形まつりについて ●地場産業の振興策について ・地域包括ケアシステムについて ・公務中の交通事故について
9	友枝 俊陽 (友志会)	・子ども・子育て支援新制度について ●学校等再編基本方針について ・公園等子どもの遊び場整備について ・婚活について

### 9月9日(火)

順番	氏名	質問件名
10	伊丹 準二 (民政クラブ)	●防災対策について ●各種要望の処理について ●行政サービスの周知方法について
11	豊浦 孝幸 (民政クラブ)	●観光振興について ・商工業について ・防災・減災について
12	高橋 照雄 (立志会)	●新市民会館建設に伴う入札について ・合併に伴う地方交付税及び合併特例債について
13	篠原 重寿 (社会民主党)	・地域の安心・安全について ●男女共同参画施策について ●食の安心・安全について
14	安藤 康次 (民政クラブ)	●地域包括ケアシステムについて
15	藤田 均 (日本共産党)	・広島土砂災害を教訓にした対策強化について ・急性の1級障害者への医療・生活支援について ・学校給食について ●学校図書館支援員(図書司書)の配置率向上について ●特別支援教育支援員の配置と充実について ・保育所待機児童の現状と解決について
16	五味 伸亮 (立志会)	・室本港の高潮対策事業の進捗状況について ・平成24年度大野原支所清掃業務委託について ・新市民会館の周辺整備の提案に対する取り組み状況について ・熱中症対策について ・自治会加入率低下と地域コミュニティについて ●自治公民館を活用した地域コミュニティの再生を図る提案について

●印については、質問と答弁の内容を次ページ以降に掲載しています。

# 16人の 議員が聞いた!

## 一般質問

### 個人質問



詫間 茂

#### 6次産業化について

**質問** 1次産業、2次産業を活性化させ地域の元気を高めるため、各自自治体で6次産業化が進められている。現在、市内で行われている6次産業化にはどのようなものがあるのか、また、今後どのように進められるのか伺う。

**答弁** 農山漁村の地域資源を活用し、1次産業としての農林漁業と、2次産業としての加工・製造業、3次産業としての卸・小売業などの事業を総合的かつ一体的に推進し、新たな付加価値を生み出す取り組みが6次産業化であり、現在、本市では2法人、1個人の方が6次産業化認定事業者となっている。

そのうちの1法人は、発芽発根にんじくの新栽培技

術を導入し、レストランや料亭などへの販売および消費者へのインターネットによる直接販売を行っている。

今後市の対応としては、補助事業として、現在取り組んでいる加工・業務用農産物の安定供給のための機械・施設整備を支援する香川6次産業化促進整備事業をさらに推進していく。そして、6次産業化に取り組みうとする農林漁業者などに関係機関と連携を図りながら、情報提供などの支援を行っている。



立石 隆男

#### 防災・減災について

**質問** ①土砂災害について日本の山ならどこでも土砂災害が起こる可能性があるともいわれているが、本市の状況はどう考えられるか  
②「ハザードマップについて」ハザードマップを改訂すると聞いたが、どのようなものか。ハザードマップは、内

容を熟知することによって災害を防ぐことや被害を軽減することの啓発が必要と思うが、どのようにお考えか。

③「自主防災について」自主防災組織の現状とその活動状況、自主防災組織の育成事業、防災組織同士の連携協調はどうなっているのか。

**答弁** ①土砂災害危険箇所は、図上と現地調査された土石流等危険箇所の総称で、本市では291カ所が公表されており、傾斜度などにより土砂災害が発生する恐れがある。

②ハザードマップは、洪水・土砂災害・高潮に加え、県地震・津波被害想定を反映させ、見やすい冊子にしたい。また、出前講座や地域で行う防災訓練での活用を周知していきたい。

③自主防災組織の組織率は、51・04%で、昨年度の訓練状況は22組織が南消防署の指導で訓練を実施した。また、育成事業として、新規結成組織には防災資機材を支給している。現在、連携を図る組織づくりはできないが、作ることができたらよいと考えている。



大久保隆敏

#### 萩原小学校の跡地利用について

**質問** かけがえのないふるさとの景観、みんなの宝の田んぼを守るために、農業研修生の力が必要である。研修生の宿泊施設として校舎・ランチルームを活用してはどうか。また、運動場でトラククの朝市を開催してはいかがか伺う。

**答弁** 市内では、大勢の外国人研修生や県外研修生が農業や水産加工業などの産業活動に頑張っている。彼らの活動・生活拠点としての、廃校の利活用も一つの案であると思う。農林水産省では、いろいろな補助メニューがあり、農産物販売施設や簡易宿泊施設、滞在型活動施設などの廃校利用が可能である。ただ、宿泊学習的な先進事例はあるが、寄宿舎的な利用例は今のところ見受けられない。廃校後の利用は、地元萩原地域のご意見を拝聴しながら、

また「公共施設のあり方検討本部」の中で今後協議していきたいと考えている。運動場利用による朝市は、年間を通して計画的に開催が可能なのか、地元JA、農業者団体、運動場を社会教育活動に利用している関係諸団体との協議・調整を進めていきたいと考えている。



大平 直昭

### 「空き家等の適正管理に関する条例」について

**質問** 近年、さまざまな事情から、空き家などが適正に管理されないまま放置される中、今後も周囲に悪影響を及ぼす恐れのある空き家などが増加することが予想される。更なる対策が必要であり、全国多くの自治体で、空き家などの所有者などに対し、適正な管理を求め、市民の安全および良好な生活環境の確保を図るため、「空き家などの適正管

理に関する条例」が制定されている。

そこで、本市における管理不全な空き家などの状況、その対応など、また条例制定についての考えを伺う。

**答弁** 国土交通省によると、現在、全国355自治体で空き家に関する条例が制定されている。

本市において、空き家に係る防犯面や環境面、倒壊危険などの相談が平成24年度は7件、平成25年度は6件、平成26年度はこれまで12件あり、その都度、建物所有者や管理者と連絡を取り対策をお願いしているが、中には十分対応していただけない方もいる。

個人の資産に係る問題でもあるので、国の動向を見極めながら、条例制定について検討するとともに、空き家バンク制度などを活用する中で空き家を増やさない施策についても進めていく。



安藤 忠明

### 運動公園の野球場について

**質問** 運動公園の野球場はアイランドリーグの公式戦も行われている。しかし、

「この球場には、なぜ夜間照明がないのか」との市民の声が上がっているが考えを伺う。

**答弁** 運動公園の野球場は昭和49年5月に供用開始以来、平成3年3月にスタンド新設、平成22年からはグラウンド、内野フェンス改修、スコアボード電光掲示板の整備を順次行ってきた。なお、夜間照明施設は、野球場建設当時の財源の確保や近隣住民の方々の意向もあり、整備をしていない。野球場の利用状況は四国アイランドリーグ、高校生・社会人大会や高校生・大学生の合宿などに1年間211日の利用があった。現在、市内で野球ができる夜間照明設備がある施設は2カ所で、萩の丘公園ではソフトボール、サッカーを

含めて年間102日、豊浜野球場ではソフトボールを含めて年間121日の利用実績があった。夜間の利用は、萩の丘公園、豊浜野球場の日程調整を行い有効利用をお願いしたい。



井上 浩司

### 高齢者詐欺被害防止について

**質問** 県警が把握しているだけでも、1月から6月までの特殊詐欺の被害件数は、未遂も含んで67件、被害額は約2億1、400万円に上り、このうち60歳以上の方が77.6%を占めており、防止対策について伺う。

**答弁** 広報紙やホームページでの啓発のほか、昨年は高齢者向けのカレンダーを、今年はパンフレットを各戸配布する予定である。また、市担当者も、随時市民からの電話などによる相談に対応している。観音寺市消費者友の会に

おいて消費者講座を開催し、啓発活動を行っている。

国内における未然防止対策としては、警視庁が高齢者宅に「自動電話録音機」を貸し出す制度や、千葉県内では「迷惑電話チエック」を貸し出すなどの対策を始めている。

また、委嘱を受けた「高齢者被害防止アドバイザー」が高齢者宅を訪問し、犯罪に巻き込まれないためのアドバイスを行い、抑止効果をあげている事例もある。

このような現状を踏まえ、未然防止対策などは、今後の調査・検討課題とし、引き続き観音寺警察署と協力しながら、被害防止に努める。





井下 尊義

市長・副市長の役割について

**質問** 市長や副市長の役割分担が多いが、どのような組織の代表や理事、役員になられているのか、労力の軽減をされたいかがか。

**答弁** 市長は100、副市長は40を超える団体などの役割に就いており、バランスをみながら可能な限り柔軟な対応をしていきたい。

入札について

**質問** 土木建築において、震災以降、全国的に不調・不落の事例が多く見受けられる。本市も市民会館の不落に始まり、電算センターの改修、伊吹総合防災センターの入札辞退など、建築工事の積算における現況調査が不十分ではないのか。

**答弁** 提出された見積書などを参考に、どこに相違点があったのかを検証して設計書を見直すとともに、条件の設定や入札方法を検討

していく。

のりあいバスについて

**質問** 現在、フリー乗降制度を採用しており、バスのりば以外の場所で乗り降りができ、非常に便利な制度である。ただ、他の車やオートバイ、自転車の事故、また、急停車による乗客の事故も想定され、現況と課題についてどのように認識されているのか。

**答弁** フリー乗降に伴う事故は起きていないが、運行管理者、運転手から運行上の問題点について実情を把握しながら安全性を向上させた。



石山 秀和

地場産業の振興策について

**質問** これまで3回にわたり「地場産業振興策」について提案してきた。本市でも、昨年「中小企業振興条例」ができ、本市の中小企業が元気に事業展開できるような「審議会も立ち上げ振興策

が議論されていると伺っているが、どのような将来像が議論されているのか伺う。

2点目は、現在、現場では、農産物の6次化を目指し、さまざまな加工品開発の取り組みがなされている。このような民間努力に力添えできるのは行政である。何度も提案してきたが「観音寺版の認証制度」を創ることにより、強力に後押しが出来ると思う。輸出を視野に入れた取り組みについても合わせて伺う。

**答弁** 去る8月29日、本年度第1回目の審議会を開催。振興計画策定のスケジュールやアンケート調査について審議し、その調査結果を基に、中小企業の課題と施策を整理し、中小企業振興の方向性を示していくことになる。地域ブランドを用いて市産品の流通拡大と地場産業の拡大育成のために、認証制度は有効な制度と認識している。今後、先進事例を参考に、認証審査会の設立も含め、創設の調査・研究に取り組む。輸出については、県と連携しながら検討していく。



友枝 俊陽

学校等再編基本方針について

**質問** ①大野原・萩原・紀伊小学校の来春の統合に向け統合準備委員会での話し合いが進んでいるが、今回の統合の基本的な考えを伺う。

②統合準備委員会の中で新たな問題も起きていると聞くが、統合準備委員会の中で解決していくのか、それとも教育委員会主導で解決していくのか。

③柞田・豊田・一ノ谷幼稚園の統合計画について伺う。学校等再編基本方針には柞田・豊田・一ノ谷幼稚園の統合計画があり、設置場所の決定が重要で、決定後は速やかに事業に着手するとある。柞田・豊田幼稚園は老朽化などにより、保護者や地元から早期の建て替えの要望があるが、統合および建設計画についてどのように考えているのか。

**答弁** ①子ども一人一人が将来大きく羽ばたくことができるよう、多種多様な経験を積むことのできる環境、何より安心安全で学べる環境を作るために、学校再編を積極的に推進していく。

②今回の統合は、大野原地区の小学生の教育環境を適正な規模に整えるための統合である。諸問題は原則、統合準備委員会で協議・決定していく。

③学校等再編基本方針に基づき計画を進めていきたい。豊田・柞田幼稚園の施設の老朽化などにより、早急に統合による施設の更新を進める。今年度中に何らかの方針が打ち出せるよう建設場所の検討を進めていきたい。



伊丹 準二

防災対策について

**質問** 市民への緊急情報の周知方法として双方向デジタル無線の整備が行われるが、災害状況の判断のため

に、常設カメラが有効と思われるが伺う。

**答弁** 県が設置した河川の監視カメラなどがあり、非常に有効と考える。全市の整備は、課題もあり、検討したい。

### 各種要望の処理について

**質問** 自治会要望の処理が、旧1市2町単位でされているが、総合的に見直すべきではないか。

**答弁** 自治会要望は最優先に処理すべきものと考え、緊急性、安全性を考慮し、要望以外の事案についても担当課において処理している。

**質問** 小・中学校、幼稚園・保育所が統廃合して著しく形を変えているが、地域的に偏りなく、整備されているのか伺う。

**答弁** 学校等再編基本方針に沿って実施している。

大野原小学校と萩原、紀伊小学校の統合は平成27年4月と決定しており、その他も児童数の推移を見ながら検討していく。

### 行政サービスの周知方法について

**質問** 行政サービスの周知方法がさまざまであり、的外れになっていないか。

**答弁** 主体は広報紙である。本市のホームページなども有効に利用されたい。



豊浦 孝幸

### 観光振興について

**質問** 最近の宝くじ効果もあり銭形砂絵を見に来る観光客も増加し、いい傾向にあるが、象が鼻岩および展望台から見た時、松など樹木が覆い見えづらく、観光客の残念がる声も聞かれる。剪定などの対策はとれないものか伺う。

**答弁** 琴弾公園は県立公園であり、市は県から公園の管理業務を委託されている。このことから、銭形砂絵の一部分を覆っている樹木などによる視界不良状況について、その対応を県担当課に確認したところ、自然の景観をそこなうことがない

よう剪定を行うなど改善していきたいとのことである。

**質問** 観光ビジョンは人口減少を緩和し、地域の未来の目標を明確にすることである。観光はまちづくりの最終形であり、歴史文化・教育・農工商産業など市民生活すべてを網羅する。一番重要なのは市民の暮らしぶりを見せることである、そして本市で暮らしてみたい気にさせることが最も重要である。どのような観光ビジョンを策定するのか伺う。

**答弁** 観光ビジョンは、観光整備の基本的な方向性を示していくためのものである。市民の皆さま、特に若い方々に参加していただき、意見やアイデアを集約し観光整備の方向性を明らかにしていく。そして、優れた自然や歴史文化、農業・漁業などの豊かな食文化などを総合的に生かし、全市民的観光のまちづくりを推進するビジョンとしていきたい。



高橋 照雄

### 新市民会館建設に伴う入札について

**質問** 先般、8月臨時会において、新市民会館建設費が、当初予算額52億9、924万9千円を約20%、10億7、482万7千円を増額した63億7、407万6千円の建設費が上程され、可決された。これを踏まえ、今後の建設計画を伺う。

**答弁** 新市民会館建設事業は、本年5月の入札不落實を受け、その内容を精査した結果、資材や人件費の高騰が要因であると判断し、先月開催された臨時議会において、新市民会館の延べ床面積やホールなどの仕様は変更せずに、新市民会館建設費の約10億7、483万円の増額と、人材確保の観点から建設工事の期間を当初の21カ月から3カ月延ばし、24カ月とする提案が可決されたところである。現在、平成28年10月末の建

設工事竣工に向け、入札などの手続きを進めている。



篠原 重寿

### 男女共同参画施策について

**質問** 日本の就業者の4割は女性だが、管理職は1割未満（諸外国は3〜4割）。女性進出には、男女を問わず、働き方を見直す必要がある。①3月に見直しした「男女共同参画計画」の考え方。②計画推進には、まず市役所の対策が必要。具体的数値の現状と目標を伺う。

**答弁** ①基本法に基づき、人権を尊重し、性別にとらわれず、個性と能力を発揮できるまちづくりを進める。②女性管理職は(25年度までに課長級以上が10%以上が目標)、現在2.6%である。30年までに課長補佐級以上が25%以上の達成に向け、職域の拡大、能力が発



揮できる環境整備、能力開発支援の仕組みを考えていく。

**食の安心・安全について**

**質問** 給食センター調理委託時「食育の充実」を挙げていたが、調理現場と学校現場との連携した取り組みを伺う。

**答弁** 献立は、栄養教諭が地場産物や郷土料理を活かして作成し、生きた教材としている。保護者、市民には、広報紙に献立の紹介、1月の給食週間に、給食展の開催を予定している。



安藤 康次

**地域包括ケアシステムについて**

**質問** 平成26年度より地域包括支援センター業務を市社会福祉協議会に委託した。

時代の要請、社会的な状況の変化の中で市社協の責務は大きくなっている。地域包括ケアシステムを構築するために地域包括支援センターの機能強化についての考えを伺う。

**答弁** 本市における地域包括ケアシステムは、現在準備の段階であるが、可能な限り住み慣れた地域・自宅においてその人らしく自立した日常生活を営むことが望ましい姿であり、そのために地域のさまざまな社会資源を活用、連携し、適切に組み合わせる仕組みを構築することが必要である。今後、介護予防・日常生活支援総合事業の実施に当たり、地域包括支援センターの役割は大きいものと認識している。

地域包括ケアシステムを構築していく中で、市が行う事業と地域包括支援センターに委託する事業を検討しながら、必要とする認知症施策、また、ケアマネージャーなどの人員配置も含め、効率的な機能づくりと連携体制づくりに取り組んでいきたい。



藤田 均

**学校図書館支援員の配置率向上について**

**質問** 「小・中学校に一人ずつ専任の図書司書を配置すること」を提案してきた。しかし「市費での配置はゼロ、今後もない」との答弁である。だが、国会は法改正で、専任の図書司書の配置率を向上しようとしている。本市でも、多忙な兼任の教諭でなく、専任の司書を配置すべきではないか。

**答弁** 本年6月調査で全国学校司書の配置は56・6%、本県の配置は52・9%。国の動向を注視し、今後配置を検討していく。

**特別支援教育支援員の配置と充実について**

**質問** 当局が増員予定の特別支援教育支援員は、「中学校で、障がいのある児童生徒に、食事・排泄・教室移動補助など日常生活の介護を行う人」との説明であった。ところが、本市の支援員

は登校時から4時間勤務で、給食前にはいなくなり、交代もなし。三豊市は、登校から下校まで、交代もある。本市でも充実すべきではないか。

**答弁** 現在、小学校27人、中学校7人の配置である。より多くの支援員を配置するため、4時間勤務としている。勤務時間は、8時から12時までと限らず、支援員と学校で協議している。4時間を超える部分は、担任・管理職などで対応している。



五味 伸亮

**自治公民館を活用した地域コミュニティの再生を図る提案について**

**質問** 市内201カ所の自治公民館を開放し、熱中症対策と地域コミュニティの再生を図れないかと考えた。自治公民館は自治会所有のため、地域の意向が前提であるが、自然エネルギーを換金できる制度を活用し、

各自治公民館に市が太陽光パネルを設置すれば、夏季の開放が可能だと考える。予算は5億から8億円で、7年から9年で償却できると考える。市への償還が終わり、自治会の自主財源として充てることができれば、クールシェアや地域のつながりはもちろん、防災・防犯の強化、地域での教育、高齢者の居場所づくり、自治会運営の負担軽減など、多くのメリットが期待できる。地域力の低下は、近い将来、必ず大きな問題となる。観音寺型、自治公民館の開放を全国モデルとして打ち出すべきだと考えるが、提案の所見を伺う。

**答弁** 斬新なアイデアで、提案のデメリットは特にないと考えるが、発電収益は所得課税の対象となり、そのための条件整備や管理運営方法など、課題も多く、すぐに実施できる状況にはないと考える。しかし、非常に面白い提案であるので、企業、市民、役所、議員を交えて、何か今後検討をしていく必要があるのではないかと思う。

## 決算審査特別委員会

平成26年9月10日～12日開催

平成25年度各会計の決算認定13件が付託され審査した。

その結果、原案のとおり認定すべきものと決定した。

【認定第1号】平成25年度観音寺市一般会計歳入歳出決算認定について

### 主な意見

人権課部分および学校教育課の学校人権啓発部分に反対であり、また、国民健康保険事業特別会計および後期高齢者医療事業特別会計への繰入金を増やすべきである。

### 要望

市営住宅に限らず各種の滞納について、裁判も視野に入れ、滞納者の状況に合わせ厳正・的確な滞納整理に一層努力していただきたい。

### 採決

認定（賛成18 反対1）

【認定第2号】平成25年度観音寺市競輪事業特別会計歳入歳出決算認定について

採決  
認定（全会一致）

【認定第3号】平成25年度観音寺市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

【認定第4号】平成25年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計歳入歳出決算認定について

【認定第5号】平成25年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について

【認定第6号】平成25年度観音寺市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

【認定第7号】平成25年度観音寺市介護予防サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について

### 主な意見

保険料または利用料を引き下げすべきである。

### 採決

いずれも認定（賛成18 反対1）

【認定第8号】平成25年度観音寺市航路事業特別会計歳入歳出決算認定について

【認定第9号】平成25年度観音寺市栗井財産区特別会計歳入歳出決算認定について

【認定第10号】平成25年度観音寺市栗井坂瀬山林特別会計歳入歳出決算認定について

【認定第11号】平成25年度観音寺市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

【認定第12号】平成25年度観音寺市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

### 採決

いずれも認定（全会一致）

【認定第13号】平成25年度観音寺市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

### 採決

剰余金の処分について原案可決、決算について認定（全会一致）

## 総務常任委員会

9月19日開催

政策部関係1議案、総務部関係2議案、一般会計補正予算が付託され、審査した結果、全議案について可決・同意すべきものとして決定した。

また、継続審査となっていた請願1件について、審査した結果、不採択となった。

### 【請願審査】

「伊方原発の再稼働に反対する意見書の提出を求める請願書」

伊方原子力発電所の再稼働を認めないよう要請する意見書を地方自治法第99条の規定に基づき、国と愛媛県に対し提出するよう求めているもの。

### 主な意見

- ・ 原発事故の処理を見ると、いろいろな問題点が見受けられる。再稼働には反対なので採択すべきである。
- ・ 現在、火力発電所が稼働しているが、無理をしている部分もある。現状では、原発は、稼働せざるを得ない。
- ・ 東京電力の福島原発の事故は大変であるが、現実問題として廃炉に向けたその段階における原発の稼働は、許してしかるべきではないか。
- ・ 今原子力規制委員会は、かなり厳しいチェックをしている。火力発電所も老朽化し、維持管理経費のコストもかかるので、原発問題は、段階的に将来的に考えるべきである。
- ・ 将来的には、原子力に頼らない電力供給が望ましいが、現時点では、再稼働は致し方ないのではないか。

### 採決

不採択（賛成1人・反対5人）

## 建設経済常任委員会

9月18日開催

建設部1議案、一般会計補正予算の関係部分、公共下水道事業特別会計補正予算が付託され、審査した結果、全議案について可決・同意すべきものと決定した。

また、継続審査となっていた陳情1件について、審査した結果、再度、継続審査となった。

### 【陳情審査】

「住宅リフォーム助成制度創設を求める陳情書」

家を増改築、修繕などのリフォームを行うときに、地元業者の各種リフォーム工事に対して、一定の条件で自治体から助成金が出される制度の創設を求めるもの。

### 【主な意見】

- ・県内にもリフォーム助成事業を行っている自治体があるので採択に賛成。
- ・新築したいが、予算がないのでリフォームしたい人もいる。
- ・経済対策としての事業の面からすると、状況が好転している。
- ・耐震改修事業に力を入れるべきである。
- ・耐震改修、リフォーム事業を並行して行うべき。
- ・事業を行う場合の財源の問題も考えるべきだ。

### 【採決】

継続審査（継続4人・採択3人）

## 文教民生常任委員会

9月17日開催

健康福祉部4議案、一般会計補正予算の関係部分、介護保険事業特別会計補正予算が付託され、審査の結果、全議案について、原案のとおり可決すべきものと決定した。

### 【教育部報告事項】

柞田、豊田、一ノ谷幼稚園の外販弁当給食について

今年の春を予定していた外販弁当給食の業者選定が難航していたが、協議の結果、業者も決定し、週3回程度の実施となる予定。

# 行政視察の報告

## 議会運営委員会

**日時** 平成26年7月1日(火)～2日(水)

**場所・事項** 埼玉県戸田市（議会改革の取り組みについて）

- PC・タブレットの取り扱い基準

議会のすべての会議が対象で、①音を発しない設定とする。②会議中に審議・審査中の情報を外部発信しない。③SNS、掲示板への投稿、メール送信はしない。違反行為は使用停止を命じる。

- 議決事項の追加は平成17年9月に条例を制定し、平成22年6月に条例の改正を行った。市の政策決定に議会が積極的に関わることで、議会機能の更なる充実を図ることができた。
- 附属機関等の委員は36機関あったが、平成20年2月の役職改選から監査委員等の11機関以外は就任しないことと決定し、現在8機関となっている。また、委員報酬は、監査委員、農業委員会以外は辞退することとした。
- その他議会モニター制度、年間テーマによる委員会活動、議員の報酬等の特例に関する条例について視察を行った。

**場所・事項** 埼玉県飯能市（議会改革の取り組みについて）

- タブレット端末の導入

市は環境マネジメントシステムによる環境に配慮した活動を推進していたので、議会もペーパーレス化や危機管理上の緊急連絡、政務調査活動、各種資料の閲覧に活用している。

- その他反問権、審議会への議員の参画見直しについて視察を行った。

**参加者** 議長 秋山忠敏 副議長 石山秀和 副委員長 安藤忠明  
委員 高橋照雄、大平直昭、安藤康次、立石隆男、五味伸亮



飯能市議会

# 審議結果

## 審議結果

件名	賛成	反対	議決結果	議員名																				
				豊浦 孝幸	篠原 和代	藤田 均	五味 伸亮	井下 尊義	立石 隆男	伊丹 準二	友枝 俊陽	詫間 茂	篠原 重寿	大久保 隆敏	高橋 照雄	安藤 康次	大賀 正三	秋山 忠敏	大平 直昭	井上 浩司	大矢 一夫	石山 秀和	安藤 忠明	
平成26年第4回（8月）臨時会				市長提出																				
新市建設計画の変更について	18	1	可	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成26年度一般会計補正予算（第2号）	15	4	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成26年第5回（9月）定例会				市長提出																				
平成25年度一般会計歳入歳出決算認定について	18	1	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成25年度競輪事業特別会計歳入歳出決算認定について	19	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成25年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	18	1	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成25年度国民健康保険伊吹診療所特別会計歳入歳出決算認定について	18	1	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成25年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	18	1	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成25年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	18	1	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成25年度介護予防サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	18	1	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成25年度航路事業特別会計歳入歳出決算認定について	19	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成25年度粟井財産区特別会計歳入歳出決算認定について	19	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成25年度粟井坂瀬山林特別会計歳入歳出決算認定について	19	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成25年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	19	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成25年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	19	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成25年度水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	19	0	可認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
健やか子ども基金条例の制定について	19	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部改正について	19	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	18	1	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	18	1	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する協定の締結について	19	0	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
三親広域行政組合ふるさと振興基金の廃止に伴う財産処分について	19	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成26年度一般会計補正予算（第3号）	19	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成26年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	19	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成26年度公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	19	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
財産の取得について	19	0	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
財産の取得について	19	0	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
請願																								
伊方原発の再稼働に反対する意見書の提出を求める請願書	6	13	不	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
陳情																								
住宅リフォーム助成制度創設を求める陳情書	-	-	継	(簡易採決)																				

※ 認…認定 可…可決 否…否決 承…承認 同…同意 採…採択 不…不採択 継…継続審査 ○…賛成 ●…反対 欠…欠席  
 ※ 議長は可否同数の場合のみ表決権があります。(議長 議長番号21番 秋山 忠敏)

# 市民フォーラム2014 観音寺市議会 主催

いっしょに考えよう!

## みんなが笑顔で暮らせる 安全・安心のまちづくり



**11月24日(月) 振替休日**

**午後6時~8時30分 入場無料**

**会場 観音寺小学校 2階会議室**

### 第一部 基調講演

校内、地域の安全見守りについて セーフコミュニティについて



石川 義行

(常磐地区学校等運営協力会 代表)



白石 陽子

(一般社団法人日本セーフコミュニティ推進機構 代表理事)

### 第二部 パネルディスカッション

#### 【パネリスト】

- 詫間 啓司 (観音寺警察 署長)
- 石川 義行 (常磐地区学校等運営協力会 代表)
- 久保 等 (観音寺市自治会連合 会長)
- 井上由美子 (観音寺市PTA連絡協議会 母親部会長)

#### 【アドバイザー】

- 白石 陽子 (日本セーフコミュニティ推進機構 代表理事)

多くの皆さまのお越しを心からお待ちしています。

**お問い合わせ** 議会事務局 23-3913

9 月					8 月					7 月				
26日	24日	19日	18日	17日	29日	26日	20日	13日	7日	29日	16日	11日	4日	2日
議会運営委員会 本会議	広聴広報委員会 全員協議会	総務委員会	建設経済委員会	文教民生委員会	議会運営委員会 本会議	全員協議会	広聴広報委員会 予算審査特別委員会	広聴広報委員会 総務委員会	議会運営委員会 臨時会	議会運営委員会 本会議	広聴広報委員会 臨時会	議会運営委員会 臨時会	議会運営委員会 臨時会	議会運営委員会 臨時会
			決算審査特別委員会	決算審査特別委員会										
				本会議 (一般質問)										
				本会議 (一般質問)										

議会日誌

### 視察に来てくれました

- ◆平成26年8月6日 神奈川県秦野市会派……………4名  
「空き家リフォーム事業補助について」
- ◆平成26年9月30日 栃木県小山市教育経済常任委員会……………8名  
「子ども読書の街づくりについて」ほか

18日	16日	12日	11日	10日	9日	8日	2日
本会議	全員協議会	総務委員会	建設経済委員会	文教民生委員会	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議

12月定例会の予定

爽やかな秋晴れの中にぎやかな獅子舞、雄大な太鼓台など、地域でのお祭りも幕を閉じ、讃岐山脈の木々も赤や黄にカラフルに紅葉し、朝夕、めっきり寒さを感じる季節になりました。

市議会も新メンバーになって、1年を迎えます。これからも、市民の皆さまのために、私たちにできることを考え、行動していきます。今後ともご指導をお願いいたします。

編集後記



篠原 藤田 五味 石山 篠原  
和代 均 伸亮 秀和 重寿

委員長 安藤 康次  
副委員長 大平 直昭

広聴広報委員会



この議会だよりは環境にやさしい植物油インキを使用しています。